

令和7年度事業実績報告書

令和8年4月30日

愛媛県議会議員 松尾 和久 様

議員氏名 松下 行吉



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

【四国防衛議員連盟総会に出席（高松市）】

- 目的 四国4県の県議会議員が連携を図りながら、国防意識の普及・啓蒙を図り、県民と自衛隊の相互理解を深めることにより、自衛隊の健全な発展に寄与・貢献すること。
- 調査内容 5月29日に開催された総会に出席。前年度の議連決算状況、7年度の事業計画を審議するとともに、陸上自衛隊第14旅団仲西旅団長の時局講演を受講した。
- 概要 計画していた事業が適正に実施されていることを確認するとともに、陸上自衛隊第14旅団仲西旅団長の時局講演を聞き、日本の置かれている状況及び自衛隊の重要性を認識した。
- 結果 前年度の議連決算状況、7年度の事業計画を審議し、四国防衛議員連盟が順調に事業を進めていることを確認。自衛隊の重要性を再認識し、議員活動に活かした。

【県議会国際交流促進議連 ベトナム（ホーチミン市内等）視察・研修】

- 目的 ベトナム社会主義共和国との友好親善と経済交流の促進を図る。
- 調査内容 2月11日から15日の5日間で、ベトナム・ホーチミン市内等の県関係機関を訪問し、同国と愛媛県の経済交流状況等の視察・研修を行った。
- 概要
 - ・2月11日松山空港から羽田空港、羽田からホーチミン（タン・ソン・ニャット空港）へ。現地時間21:50着
 - ・2月12日午前中、ジェトロ・ホーチミン事務所の岡部所長から、ベトナム



ムの現状と日本企業の進出状況などについて話を伺い、質疑を交わす。午後、在ホーチミン日本国領事館を訪問。小野総領事と大迫副領事からベトナムの国内情勢と日本との関係性について話を伺う。国民性にも話が及ぶ。また、現在の指導者トー・ラム書記長が進める国内改革にも話が及び現地でしか分からない事情を知ることが出来た。

- ・ 2月13日、ドンナイ省のニヨンチャックⅢ工業団地を訪問。日系中小企業開発株式会社（JSC）の一重マネージャーから同団地の概要と参入企業について説明を受け、意見を交わす。この工業団地は、土地と建物を貸し出す（レンタル）システムで、共産国ならではのやり方だと思った。敷地面積は2,700haもあり、賃料は周辺に比べると安く、現在の入居率は99.8%と高稼働している。残念ながら愛媛県内企業の進出はまだないとのこと。
- ・ 2月14日ホーチミン市内の歴史的建造物や観光拠点を中心に、都市の発展過程と観光産業の実態を視察。21時前にホーチミン（タン・ソン・ニャット）空港に到着。23時の全日空便で羽田へ。【機内泊】
- ・ 2月15日羽田空港（7:00時）着。松山空港（午前10:45）着。同空港で解散。

○結 果 社会主義共和国でありながら、年率約8%のGDP成長を遂げるベトナムのダイナミズム、若い人口構成に支えられた成長著しいベトナム社会を肌感覚で視察できた。今後は、この視察を活かして、愛媛県が進める同国ビンロン省との経済の相互協力を議員として後押しする。

【県議会防衛議員連盟による自衛隊基地の視察・研修】

○目 的 国防意識の普及・啓蒙を図り、県民と自衛隊の相互理解を深めることにより、自衛隊の健全な発展に寄与・貢献すること。

○調査内容 2月19日、広島県呉市にある海上自衛隊呉基地と、江田島市にある海上自衛隊第1術科学校及び同幹部候補生学校の視察・研修を行った。

○概 要 県議会防衛議員連盟と県内市町議員で構成する愛媛県防衛議員連盟の参加を得て、海上自衛隊呉基地と江田島市にある第1術科学校及び幹部候補生学校を視察。海上自衛隊の現状等を研修し、国防の重要性を認識した。

○結 果 防衛議員連盟の事務局長として議員活動に活動に活かした。また、県内市町議員からの参加を得たことで、市町にも国防の重要性を広げることが出来た。

その他の政務活動の概要

(1) 高速自動車道路整備促進について関係省庁に要望活動を行った。

○目的 県内の高速道路ミッシングリンクの解消

○概要 内閣府国土強靱化推進室次長、財務省主計局次長、国土交通省道路局次長及び技監に面会して、東・中・南予の道路事情、道路整備の必要性（特に高速道路）を説明。県内の高速道路の整備促進について要望した。

○結果 愛媛県内の高速道路整備について関係者の理解を得、次年度以降の整備の足掛かりとなった。

(2) 政務活動広報誌の発行

○目的 県政の動きを広報する。

○概要 年4回の定例議会を中心に予算の状況や県議会の活動状況をまとめた「県政活動レポート」を作成し配布した。

○結果 県民に県議会と愛媛県政の動きを知らせた。